



1 左側から乗り込みましょう

荷物などは、トランクに入れCOMSに乗り込みます



道路上で乗り込む場合は安全のため左側（歩道側）からの乗り込みをおすすめします

3 正しい運転姿勢をとりシートベルトを装着しましょう

- ① シートベルトはゆっくりと引き出します
- ② ベルトがねじれていないか確認し、肩に掛け、腰骨の低い位置に密着させて装着します



シートベルトの警告灯はタイマーにより消灯しますので、ベルト装着後に点滅していても問題ありません

5 メーターが表示されると走行可能状態

スピードメーターが「0」を表示すると電源が「ON」となり、走行可能となります



表示されるまでタイムラグがありますので、しばらくお待ちください
メーターが表示されるまでは操作しても動きません

2 運転しやすい位置にシートを調節しましょう

- ① シート位置は、ブレーキペダルを踏み込んだ状態で前後位置を調節してください



※シートのリクライニング機能はありません

- ② サイドミラーは、後方の様子がしっかり確認できるように調節してください



4 キーを差し込む前に確認しましょう

- ① ブレーキペダルをしっかり踏み込む
- ② パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- ③ シフトレバーをニュートラル「N」位置にあることを確認する



シフトレバーがドライブ「D」やリバース「R」に入っているとメーターが表示されず、電源がONになりません

キーを「ON」に回しましょう

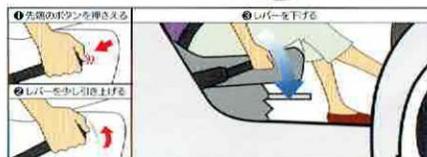
- ① キーを奥まで差し込む
- ② 「LOCK」から「ACC」をすぎず「ON」へ回す



イグニッション・キーは二段階になっていますが、奥まできちんと回してください

6 パーキングブレーキレバーを解除しましょう

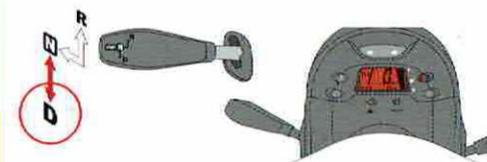
- ① ブレーキペダルをしっかり踏み込む
- ② パーキングブレーキを解除する
- ③ メーター内のパーキングブレーキ表示灯が消えるのを確認する



解除すると「P」ランプが消灯しますが、ランプが点灯していれば、完全に解除されていませんので、レバーをさらに下げてください

7 進行方向にシフトレバーを設定しましょう

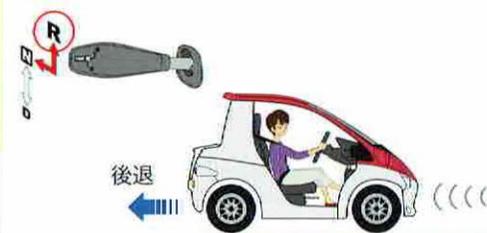
- ① 前進する場合は、シフトレバーを真下に下げて、ドライブ「D」の位置にする
- ② メーター表示は「N」から「D」に変わります



オートマチック車と同様にクリープ現象（アクセルを踏まなくてもゆっくり前進する）が発生しますのでブレーキから足を離さないでください

9 後退するときは完全に停止した状態から！

- ① 完全に停止させる
- ② ブレーキを踏んだまま、シフトレバーを手前に引いてから真上上げてリバース「R」の位置にする
- ③ メーター表示は、「R」に変わります
- ④ 後方の安全を良く確かめてからゆっくり後退する



道路交通法では、駐車違反取締りの対象となります
停車及び駐車を禁止する場所には、停めないでください

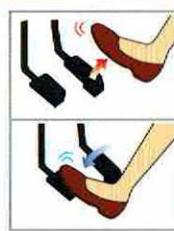
8 周囲の安全を確認してゆっくり発進しましょう

- ① 周囲を確認をする
- ② ブレーキペダルを緩める
- ③ アクセルペダルを踏めば走り出します



10 しっかりブレーキをかけて完全に停止させましょう

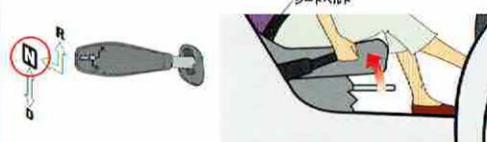
- ① アクセルを放した時点からエンジンブレーキのような回生ブレーキが働きます
- ② ブレーキを踏むと更にその力は強くなり、車両が減速します
- ③ ブレーキをしっかり踏んで停止する



COMSは、前輪がディスクブレーキ、後輪がドラムブレーキです
少し強めにペダルを踏むように心がけてください
補助的に作動する回生ブレーキは、満充電およびシフトレバーが「N」のときは働きません

11 パーキングブレーキをかけましょう

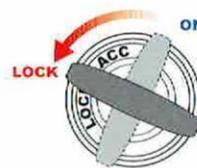
- ① 完全に停止したのを確認する
- ② シフトレバーを「N」にする
- ③ パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引き上げる



道路交通法では、駐車違反取締りの対象となります
停車及び駐車を禁止する場所には、停めないでください

12 キーを「LOCK」にして抜きましょう

- ① キーを一番手前まで回して「ON」から「LOCK」にしてキーを抜く
- ② シートベルトを外し、車両の外側の安全をよく確認してから車を降りてください



車両の外側の安全をよく確認してから
COMSを降りてください



1 コムスはクルマとは異なる乗り物です。

- 運転には「普通自動車免許証」が必要です。
- コムスは「普通自動車免許」を持った人が一人で乗る電気自動車「第一種原動機付自転車（ミニカー）」です。

☆ コムスは登録上は「原動機付自転車」、道路上では「自動車」として扱われます。

☆ 自動車専用道路・高速道路は走行できません。

☆ コムスは「車検」「車庫証明」「重量税」「取得税」が不要です。



ヘルメットの着用義務なし



二段階右折の必要なし



シートベルトの着用義務あり

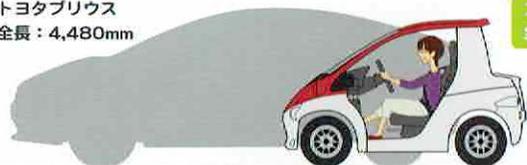


最高速度は60km/h

2 運転時の留意点について

- 通常の車と比べて車体が小さいため、他車の死角に入りやすい点に注意が必要です。

トヨタプリウス
全長：4,480mm



コムス
全長：2,395mm

☆ 走行するときは、通常の車と同じように交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。

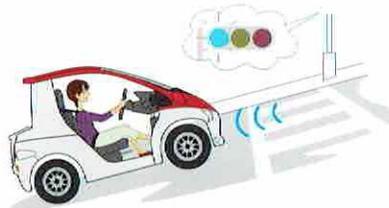
- エンジン音がしないため、運転の際には周囲の状況に十分注意しましょう。

☆ 駐車後や信号待ちなどで停車したときは、子供や障害物など周囲の安全を十分確認してから発進してください。

- 上り坂では後退に注意が必要です。

☆ ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえた時、一瞬後退する場合があります。坂道発進時はパーキングブレーキを併用してください。

☆ 坂道で速度が落ちたり、急な坂をのぼりきれない場合があります。



- オプションのキャンバスタドアをつけた場合、気温の低い時や雨天時にフロントガラスが曇ることがあります。

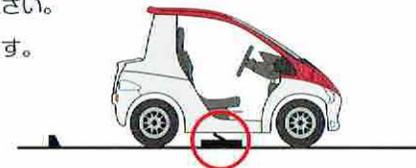
☆ コムスにはウインドドゥーフロスターやエアコンの設定がないため、外気を導入していただくとともに市販の曇り止めをご使用ください。

3 外出時・駐車時の留意点について

- コムスは家庭用AC100V充電専用です。
- 公共のEV・PHV用充電設備はご利用いただけません。
- 駐車禁止区域での駐車や長時間駐車は道路交通法の違反対象になります。
- コインパーキング利用時は注意が必要です。

☆ ホイールベースが短いため、前輪がフラップに乗り上げてしまう場合があります。フラップ位置を視視で確認しながら駐車してください。

☆ パーキングによっては駐車できない場合があります。



4 走行中に「警告機能」が働いた時は

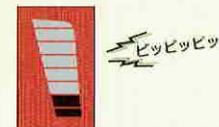
- バッテリー残量計の目盛が3つになると

「ビー、ビー、ビー」と注意音が鳴り、3回くり返すと注意音は消えます。



- 目盛が2つになると

「ビッ、ビッ、ビッ」と少し短めの注意音が5回鳴り、その後音は消え、同様に走行を続けることは可能です。



- 目盛が1つになると

「ビ、ビ、ビ」ともっと短い注意音が5回鳴り、その後音は消えますがそのまま走行を続けると、1つだけの目盛が点滅し、警告音が連続して鳴り、30秒後、またはモーターが走行できない電圧になると、システムが停止し、車両も止まってしまいます。



- バッテリー切れで停止した場合

しばらく待つてから再度起動すると、システムが回復し、1~2kmは走行が可能となります。しかし、これを繰り返しますとバッテリーへの負荷が大きくなり、バッテリー寿命を縮めることとなります。



- モーター過熱警告灯が点灯し、ブザーが鳴ったら

急な坂道や長い坂道を走行し、モーターに大きな負荷がかかった場合には、システムが停止することがあります。この場合、車両が停止してしまいますので、安全な場所まで車両を押すなどして移動し、過熱温度が下がるまで待った上で、再度起動し、問題がなければそのまま引き続き走行できます。

